

英国の25年後の人口予測

10月29日、安倍首相が1億総活躍社会の創出プランを発表しました。現在の出生率1.4人では50年後の人口は8000万人、100年後には4000万人になると予想されており、少子高齢化に歯止めをかけその為にも早い機会に出生率1.8人に引き上げるべく様々な政策を打ち出し50年後も人口1億人を目指すと言うものです。

時を同じくして、英国政府は2014年をベースにした25年後の人口予測を発表しました。これは考えられる様々な人口増減の要因、例えば、出生数、死亡数、平均寿命、それと英国の歴史的背景から今日まで続いている旧植民地からと最近では東ヨーロッパの国々からの移民を考慮をした予測で、数年ごとに発表しているものです。概要は；－

- ・これからの25年間に英国の人口は970万人増加し、2014年時点の6460万人が2039年には7430万人なる。
- ・970万人増加の半数は移民の流入と英国人の海外移住による差異、残りの半数は出生数と死亡者数の差異となる。
- ・高齢化は徐々に進み、2039年には12人に1人は80歳以上の高齢者となる。

(単位：百万人)

	2014	2019	2024	2029	2034	2039
United Kingdom	64.6	66.9	69.0	71.0	72.7	74.3
England	54.3	56.5	58.4	60.2	61.8	63.3
Wales	3.1	3.1	3.2	3.2	3.3	3.3
Scotland	5.3	5.4	5.5	5.6	5.7	5.7
Northern Ireland	1.8	1.9	1.9	2.0	2.0	2.0
Children	12.2	12.7	13.1	13.1	13.2	13.2
Working age	40.0	42.0	43.0	44.2	44.3	44.6
Pensionable age	12.4	12.2	13.0	13.6	15.2	16.5

表1. 英国の地域別、年齢グループ別の人口の動態予測 (出所：国立統計局)

(単位：百万人)

	2014 to 2019	2019 to 2024	2024 to 2029	2029 to 2034	2034 to 2039
Population at start	64.6	66.9	69.0	71.0	72.7
Births	3.9	4.0	4.0	4.0	4.1
Deaths	2.9	2.9	3.0	3.2	3.4
Natural change	1.1	1.2	1.0	0.8	0.6
Net migration	1.2	0.9	0.9	0.9	0.9
Total change	2.3	2.1	2.0	1.7	1.6
Population at end	66.9	69.0	71.0	72.7	74.3

表 2. 英国の人口の動態予測に於ける出生数、死亡数、移民の影響 (出所：国立統計局)

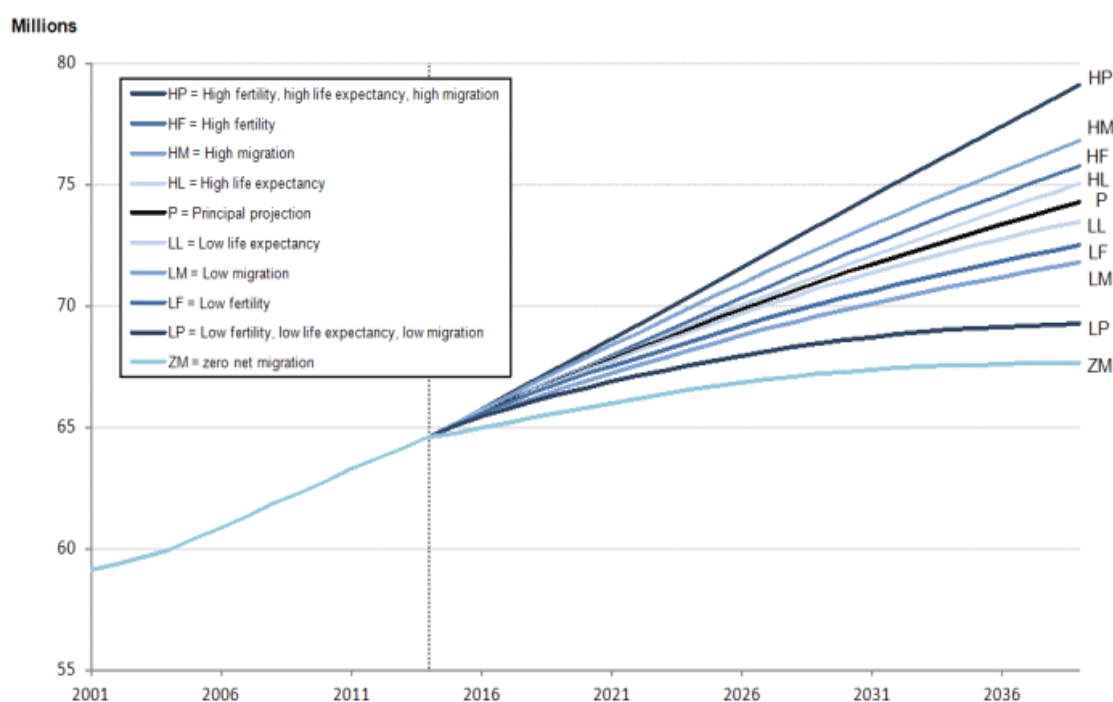


図 1. 英国の 2039 年までの人口の動態予測 (出所：国立統計局)

上図では以下の条件での人口増加の予測が大きく変化する状況を表しています；-

**HP**：出生率が高く、平均寿命が大きく伸び、移民も増加した場合

**HF**：出生率が高い場合

**HM**：移民が大幅に増加した場合

**HL**：平均寿命が大きく伸びた場合

**P**：出生率、平均寿命、移民の増加も平均値の場合

**LL**：平均寿命が下がった場合

**LM**：移民が大幅に減少した場合

**LF**：出生率が低い場合

**LP**：出生率、平均寿命も低下し、移民も減少した場合

**ZM**：移民数と英国人の海外移住数が拮抗した場合

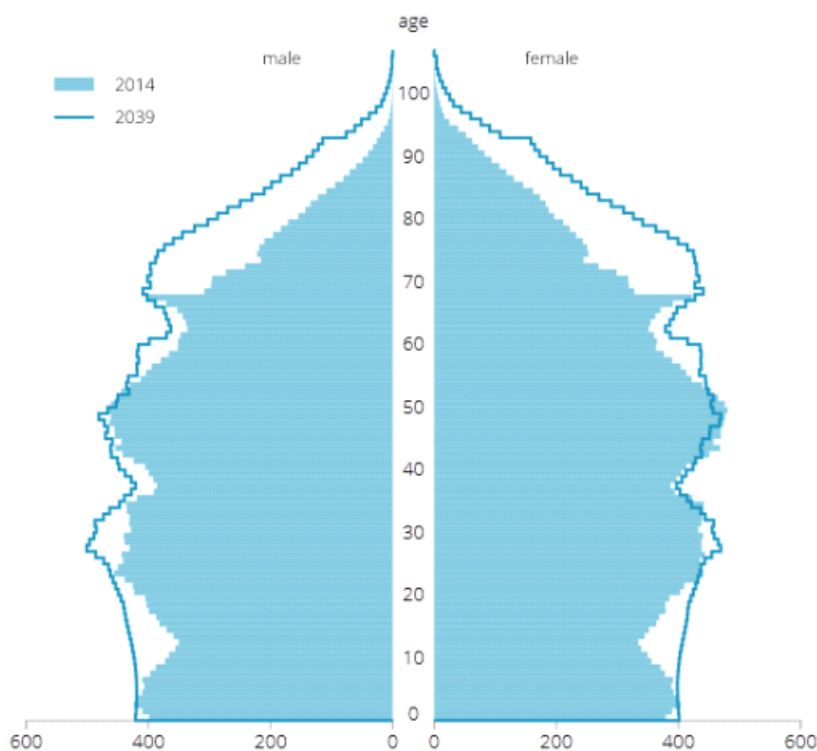


図2．英国の2014年と2039年の人口の年齢構成比較（出所：国立統計局）

上図の釣鐘形状から高齢者は2014年に比べ2039年には増加し、社会福祉費の増大も懸念されますが、働き盛りや子供を増やす施策の効果がそれを払拭できると思われます。

翻って、日本を見てもみると、今の若者は結婚願望が低く、結婚年齢も高くなっており結婚しても狭隘な住宅や高い教育費、共稼ぎが常識化した昨今、子供を欲しがらない夫婦の増加等々の社会現象が現実となっています。この裏には、これまでの政府の「人口増加」に係わる政策がほとんど機能していなかったと言わざるをえません。

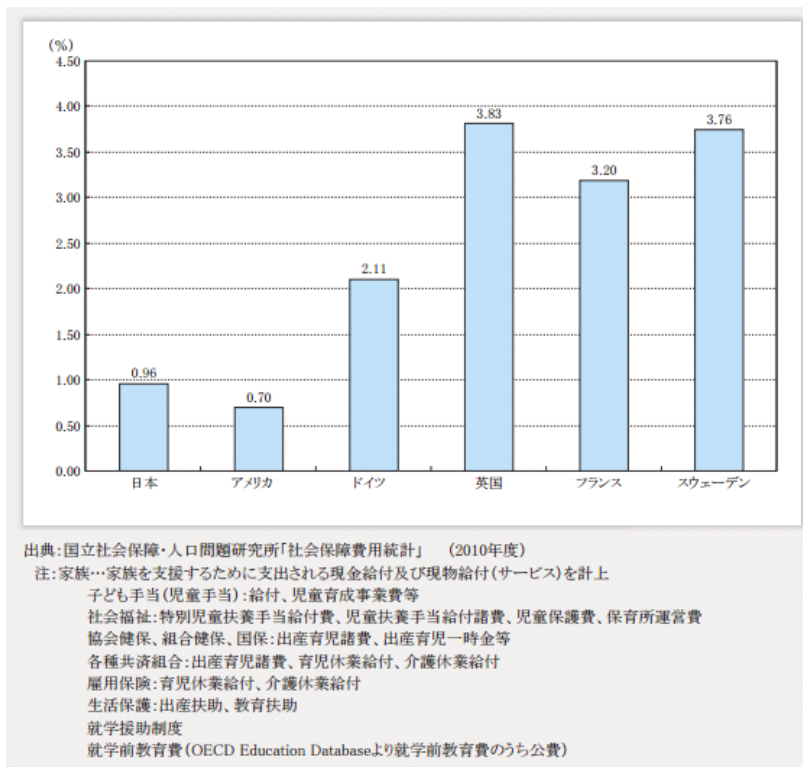
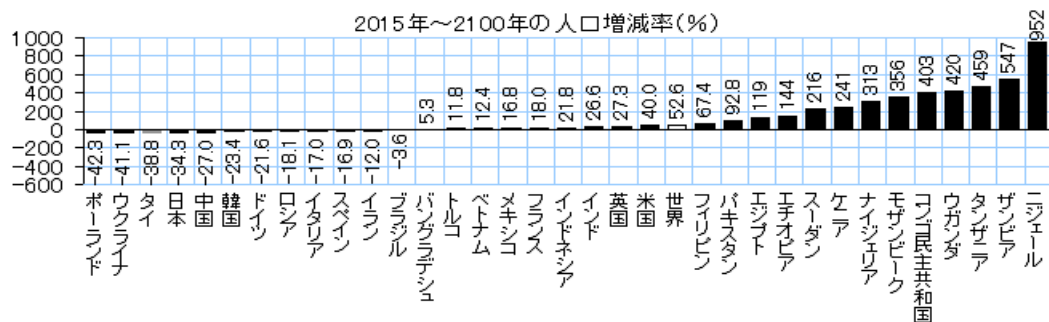


図3. 主要国の出生率増加に貢献する国の家族関連諸手当支出の対 GDP 比率

上図から明らかな様に、日本は国の家族関連諸手当支出は英国の 1/4 と先進国の中では最低レベルで、施策の遅れが日本の人口減小の一因かもしれません。

最後に下図の、国連の世界人口予測(2015年版)によりますと、2015年~2100年の人口増減率では英国は+27.3%で人口9500万人になり、欧州でもドイツを上回る欧州最大の国家になると予測されています。



(国連) 世界人口予測 2015年版 (World Population Prospects :The 2015 Revision) より

日本は-34.3%で人口は8000万人と縮小します。国家は人口が減少しだすと経済が縮小し、税収が減り財政も縮小し国防力も弱まり、いわゆる縮小国家への道をたどります。日本はこの道をたどり、消滅するのでしょうか。日本人はそれを望んでいないはずで、(了)